

第5回 大阪総合病院精神医学研究会のお知らせ

日時 2019年1月26日(土) 14:00～17:00

場所 大阪赤十字病院別館3階会議室(赤十字病院構内です)

参加費 1000円 (当日受付にて徴収させていただきます)

一般演題 14:00～15:00 座長 大阪赤十字病院精神神経科 粉 祐二

1. 電気けいれん療法(ECT)によりうつ病が回復し手術可能となった卵巣腫瘍の一例

大阪赤十字病院 精神神経科 高橋賢人 先生

2. 抗精神病薬による高プロラクチン血症への対応 -3例の経験をもとに-

大阪赤十字病院 精神神経科 小林紗季 先生

3. 当院精神神経科病棟での身体合併症治療の有用性と支援の限界

関西医科大学総合医療センター 精神神経科 鈴木美佐 先生

4. 水中毒による低Na血症に横紋筋融解症を合併した統合失調症の一例

大阪市立総合医療センター 精神神経科

○山條祐輝 先生、春原敦 先生、古塚大介 先生

シンポジウム 15:00～16:00

「総合病院精神科における研修について考える」

コーディネーター: 大阪赤十字病院精神神経科 粉 祐二、和田 央

1. 研修の場としての総合病院精神科

神戸市立医療センター中央市民病院 精神・神経科部長 松石邦隆先生

2. 地域総合病院における精神科の役割と面白さ

大津赤十字病院 神経科部長・精神科部長 林晶子先生

3. 児童思春期に特有の精神疾患から認知症まで、どんな精神疾患でも経験できる研修を目指して

京都桂病院副院長・精神科部長 岸信之先生

特別講演 16:00～17:00 座長: 大阪赤十字病院精神神経科 和田央

「精神医学における多元主義とはー総合病院での研修の進め方のヒントとしてー」

京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座(精神医学) 教授

村井 俊哉 先生